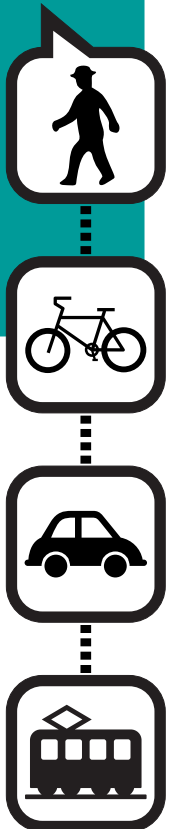


人と環境を重視した 都心交通の実現を目指して



市では平成13年に「都心

交通ビジョン」を発表して以来、懇談会や検討会などを通し、都心交通の課題や将来像を考えるとともに、市民の皆さんのご意見をいただけてきました。

今年度は、そうした検討結果や意見を踏まえながら、さまざまな調査、実験や、ワークショップなどを行い、その結果を基に、都心交通計画を策定します。策定に当たり、今年度行う事業を紹介します。

このページに関するお問い合わせは、
都心交通担当課 ☎(21) 2254へ

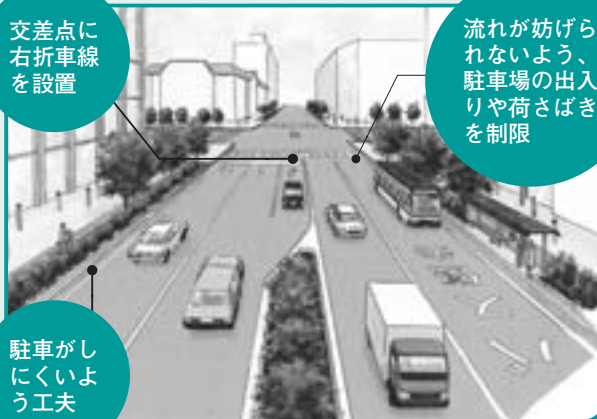
▶ トラフィック機能重視道路

主に円滑な自動車交通の実現を目指す道路です。駐車場の出入りや荷さばきなどの制限、交差点の改良、違法駐車がしにくい環境の整備など、自動車のスムーズな流れを目指します。

交差点に右折車線を設置

流れが妨げられないよう、駐車場の出入りや荷さばきを制限

駐車がしにくいよう工夫



イメージ図

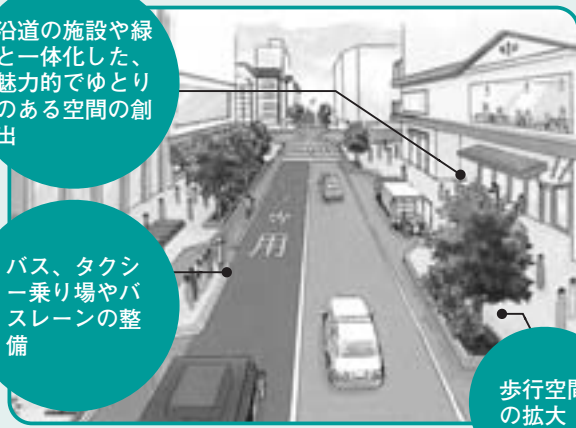
◀ アクセス機能重視道路

主に快適な歩行環境の実現を目指す道路です。ゆっくり楽しみながら歩けるよう歩道を広げ、沿道の施設や緑と一体化した魅力的な空間をつくります。また、公共交通機関への乗り継ぎ機能を向上させます。さらに、路上での荷さばきなど沿道建物への出入り機能を充実させます。

沿道の施設や緑と一体化した、魅力的でゆとりのある空間の創出

バス、タクシー乗り場やバスレーンの整備

歩行空間の拡大



イメージ図

● 都心交通計画の策定

違法駐車や放置自転車など、現在、都心はさまざまな交通上の課題を抱えています。こうした課題の解消と、人と環境を重視した都心交通を実現するため、都心交通計画を策定します。

計画の内容としては、限られた都心の道路空間を、自動車道路としてのトラフィック機能重視道路と、歩行者空間としてのアクセス機能重視道路に分類します。その上で、人と車、自転車などが共存できるように道路空間の見直しを提案します。また、都心交通の円滑化に向けては、公共交通を軸とした交通体系と、自動車に過度に依存しない交通対策を検討します。さらに、違法駐車や路上駐輪などの交通問題への対応として、道路を利用する場合のルールについても検討を進めます。

計画の策定に当たっては、有識者からなる「札幌市都心交通計画策定委員会」により、検討が進められます。委員会は、10月上旬から5回にわたり開催され、すべて一般に公開されますので、興味のある方はぜひ、参加してください。